

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科における膵癌切除後の早期再発危険因子の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月1日～2021年8月31日に当院で膵癌に対して膵切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年、膵癌に対する術前・術後化学療法を含む集学的治療の有用性が報告され、膵癌患者の予後改善に寄与していますが、一方で術後早期再発を来す患者さんがいることも事実です。術後早期再発した場合の予後は不良であり、術後早期再発症例の危険因子を同定し治療戦略を構築していくことが膵癌患者さんの更なる予後向上の手掛かりになると考えられます。昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科では、「膵癌診療ガイドライン 2019年版」を基本として治療を行っており、アウトカム（臨床病理学的背景や治療成績）を後方視的に把握・解析し、治療の妥当性や問題点について検証することで治療上の問題点・改善点を抽出し、今後の当該疾患診療の向上を目的としています。本研究では、昭和大学藤が丘病院において膵癌に対して膵切除を行った患者さんを対象に、統計学的手法を用いて早期再発の危険因子を検討し、当該疾患診療の向上を目的としています。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される結果通知書の承認日より、実施医療機関の長の研究実施許可を得てから 2024年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断名、現病歴、既往歴、内服薬、病期）、手術詳細（手術術式、リンパ節郭清度、根治度、手術時間、麻酔時間、出血量、IN-OUT、輸血の有無、膵切離部位、膵切離法）、術後観察項目（ドレーン留置期間、ドレーン排液量、ドレーン排液中 AMY の度、ドレーン排液の細菌培養検査結果）、臨床検査項目（バイタル検査、血液生化学検査、凝固、腫瘍マーカー、X線、各種透視画像検査、CT、MRI、血管造影検査、各種病理検査結果）、および治療成績（合併症・偶発症の有無とその詳細、再発の有無、転帰、生存期間）と外来通院歴・外来での臨床検査項目を調査項目です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学藤が丘病院（医学部外科学講座消化器・一般外科部門）

氏名： 松尾 憲一

住所： 〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151

研究責任者： 松尾 憲一